



2025年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ダイイチ
コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若園 清

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西崎 進

TEL 0155 - 38 - 3456

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績(2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	14,720	10.0	526	23.6	529	23.5	401	15.7
2024年9月期第1四半期	13,385	5.6	688	5.1	691	5.1	476	5.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	35.50	
2024年9月期第1四半期	41.70	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	28,098		16,900		60.1	
2024年9月期	26,200		16,849		64.3	

(参考)自己資本 2025年9月期第1四半期 16,900百万円 2024年9月期 16,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		0.00		30.00	30.00
2025年9月期					
2025年9月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	7.6	795	31.3	795	31.6	580	27.4	51.29
通期	58,500	12.9	1,650	13.8	1,650	15.7	1,200	15.8	106.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期1Q	11,438,640 株	2024年9月期	11,438,640 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年9月期1Q	144,735 株	2024年9月期	131,235 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期1Q	11,301,955 株	2024年9月期1Q	11,417,852 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策効果等もあり、一部に足踏みが残るものの、緩やかな回復を続けてまいりました。

先行きにつきましては、欧米の金利情勢や中国における不動産市場の停滞継続の影響など、海外景気の下振れリスクがわが国の景気を下押しするリスクになっていることに加え、物価上昇や米国の政策動向などにも注意が必要であり、不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましても、長引く物価高により、お客様の「節約志向」、「選別志向」が一層強まっていることに加え、人件費等の各種経費の増加、業種・業態の垣根を越えた競争が更に激化しつつある等、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』を基本方針とする中期経営計画に基づき、2年目である第71期に関しては、①コンプライアンスの徹底、②出店戦略推進、③競合店対策、既存店の活性化、商品力・商品化技術強化、④ガバナンス体制強化（業務改善、組織の活性化、人財確保と教育の実践）、⑤社会貢献の5つを重点実施事項とし、取り組んでおります。

当第1四半期累計期間における主な取り組み成果といたしましては、「②出店戦略推進」への取り組みとして、2024年9月27日に旧イトーヨーカドー帯広店の食品売場区画にオープンした「稲田店」が本格稼働を始めました。また、2024年11月8日にはラピダス進出に伴い大きな発展が期待されている千歳市北信濃地区に「千歳店」をオープンしました。これらの結果、2024年12月末現在の店舗数は、帯広ブロック10店舗、旭川ブロック7店舗、札幌ブロックは8店舗となり、全ブロック合計で25店舗となりました。

今後の店舗戦略としましては、2025年春頃に旧イトーヨーカドーアリオ札幌店の食品売場区画への出店を予定しており、引き続きドミナントの拡充を進めてまいります。「③競合店対策、既存店の活性化、商品力・商品化技術強化」への取り組みとして、お客様の立場に立った商品作りと品揃えの徹底を基本方針に、コア商品の開発とベーシック商品の充実、プライベートブランド（セブンプレミアム）商品の拡充などに取り組みました。

また、日頃のお買い物にご不便されている方々に商品をお届けする「移動スーパー（とくし丸）」事業は、社会貢献及び地域貢献の一環として取り組んでおり、2024年12月末現在で17台が稼働しております。更に、2024年12月からは、高齢者・障害者施設、病院等へのお届けサービスも開始しました。今後も地域のニーズに積極的に対応すべく、増車を検討してまいります。

当第1四半期累計期間における売上高は、稲田店や千歳店の新規出店効果により、147億20百万円（前年同期比10.0%増）と増収となった一方で、新規出店に伴う経費負担が当第1四半期累計期間に集中したことにより、営業利益は5億26百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益は5億29百万円（前年同期比23.5%減）、四半期純利益は4億1百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは60億円（前年同期比9.1%増）、旭川ブロックは36億96百万円（前年同期比1.9%減）、札幌ブロックは50億22百万円（前年同期比22.0%増）となりました。売上総利益率につきましては25.9%となり、前年同期比0.1ポイント改善しました。販売費及び一般管理費の売上高に対する比率は23.3%となり、前年同期比1.6ポイント増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ18億98百万円増加の280億98百万円となりました。

流動資産においては、売掛金の増加5億25百万円、商品及び製品の増加2億67百万円及びその他に含まれる前払費用の増加1億8百万円、ギフト券未収金の増加48百万円、未収入金の増加36百万円、リベート未収金の増加24百万円等に対し、現金及び預金の減少1億80百万円等により、前事業年度末に比べ8億33百万円増加の115億7百万円となりました。

固定資産においては、建物の増加5億96百万円、その他有形固定資産に含まれる工具、器具及び備品の増加1億16百万円、リース資産の増加6億83百万円に対し、建設仮勘定の減少3億77百万円等により、前事業年度末に比べ10億64百万円増加の165億90百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ18億46百万円増加の111億97百万円となりました。

流動負債においては、買掛金の増加11億68百万円、その他に含まれる預り金の増加1億65百万円、未払費用の

増加76百万円、テナント預り金の増加62百万円等に対し、未払法人税等の減少1億78百万円、賞与引当金の減少1億90百万円により、前事業年度末に比べ10億84百万円増加の72億41百万円となりました。

固定負債においては、資産除去債務の増加1億18百万円、その他に含まれる長期リース債務の増加6億80百万円、退職給付引当金の増加14百万円に対し、長期借入金の減少14百万円等により、前事業年度末に比べ7億61百万円増加の39億55百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ51百万円増加の169億円となりました。

これは主に、四半期純利益4億1百万円の計上、剰余金の配当3億39百万円の結果、利益剰余金が62百万円増加したこと、及び自己株式の取得18百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は60.1%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期決算短信」で公表いたしました2025年9月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

第2四半期累計期間の業績予想に対する当第1四半期累計期間の実績の進捗状況は、以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想 (A)	28,000	795	795	580	51.29
第1四半期実績 (B)	14,720	526	529	401	35.50
進捗率(%) (B)/(A)	52.6	66.2	66.6	69.2	69.2

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,939,753	7,759,407
売掛金	935,659	1,461,626
商品及び製品	1,136,505	1,404,312
原材料及び貯蔵品	8,923	6,602
その他	654,563	877,203
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	10,673,905	11,507,652
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,730,277	6,326,322
土地	6,103,365	6,103,365
その他（純額）	1,359,917	1,780,975
有形固定資産合計	13,193,560	14,210,663
無形固定資産		
その他	105,764	99,927
無形固定資産合計	105,764	99,927
投資その他の資産		
長期貸付金	722,743	755,558
その他	1,504,223	1,524,631
投資その他の資産合計	2,226,966	2,280,190
固定資産合計	15,526,291	16,590,781
資産合計	26,200,196	28,098,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,133,311	4,301,453
1年内返済予定の長期借入金	56,004	56,004
未払法人税等	317,723	138,789
賞与引当金	258,483	68,141
その他	2,391,355	2,677,409
流動負債合計	6,156,876	7,241,797
固定負債		
長期借入金	41,983	27,982
退職給付引当金	852,725	867,365
資産除去債務	1,513,083	1,631,959
その他	786,519	1,428,489
固定負債合計	3,194,311	3,955,796
負債合計	9,351,187	11,197,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	13,789,315	13,851,357
自己株式	△146,867	△165,709
株主資本合計	16,847,800	16,891,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,208	9,838
評価・換算差額等合計	1,208	9,838
純資産合計	16,849,008	16,900,839
負債純資産合計	26,200,196	28,098,433

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	13,385,653	14,720,264
売上原価	9,925,481	10,914,727
売上総利益	3,460,171	3,805,536
営業収入	134,988	147,160
営業総利益	3,595,159	3,952,696
販売費及び一般管理費	2,906,531	3,426,335
営業利益	688,628	526,361
営業外収益		
受取利息	899	1,688
受取配当金	160	869
受取弁済金	-	10,320
その他	2,013	717
営業外収益合計	3,072	13,595
営業外費用		
支払利息	103	10,434
その他	113	270
営業外費用合計	216	10,704
経常利益	691,484	529,252
特別利益		
受取解決金	-	※1 67,010
特別利益合計	-	67,010
特別損失		
固定資産除却損	59	-
特別損失合計	59	-
税引前四半期純利益	691,424	596,262
法人税、住民税及び事業税	144,042	114,121
法人税等調整額	71,305	80,876
法人税等合計	215,347	194,997
四半期純利益	476,077	401,264

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※1 2022年に発覚した不適切会計問題に起因して生じた当社費用の当時の役員の負担に関する解決金。当時の役員と協議を行ってきましたが、合意に至り、2024年12月に解決金全額を受領が完了いたしました。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	188,849千円	231,416千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、食料品主体のスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月14日開催の取締役会において決議いたしました、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得について、以下のとおり実施いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

株主還元および資本効率の向上を図るとともに、市場環境、経営環境等の変化に対応した柔軟かつ機動的な資本政策を実施していくため。

2 取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	10万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.88%)
株式の取得価額の総額	1億5,000万円(上限)
取得期間	2024年11月15日から2025年9月19日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付

3 取得の結果

(1) 2024年12月31日以前に取得した自己株式の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	13,500株
株式の取得価額の総額	18,842,100円
取得した期間	2024年11月18日から2024年12月31日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付

(2) 2025年1月1日以降に取得した自己株式の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	3,800株
株式の取得価額の総額	5,327,000円
取得した期間	2025年1月1日から2025年1月31日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付